

社団法人日本新体操連盟

平成18年度第4回理事会議事録

1. 会議名： 平成18年度第4回理事会
2. 日時： 平成19年3月9日（金）19時00分～20時30分
3. 場所： 東京都港区西麻布3-2-32 「麻布霞会館・203号室」
4. 構成員現在数： 22名
5. 出席役員： 二木 英徳（会 長） 朝倉 正昭（副会長） 福本 隆（副会長）
荒井 隆（専務理事） 石崎 朔子（常務理事） 渡辺 守成（常務理事）
池田真喜子（理 事） 岡 久留実（理 事） 谷口 裕代（理 事）
橋本 千波（理 事） 山崎 浩子（理 事）
高橋 明（副会長） 関田史保子（常務理事） 秋山エリカ（理 事）
岩本 晃（理 事） 上村 郁子（理 事） 佐藤 昌子（理 事）
崇島 慎一（理 事） 谷原 誠（理 事） 藤島八重子（理 事）
田中 元（監 事） 横田 章（監 事）
以上22名（うち委任状出席11名）
6. 欠席役員： 以上0名
7. 議案：
決議事項
第1号議案 平成18年度第2回総会について
(定款第5条、第5章、第38条関連事項)
第2号議案 その他
8. 議事の経過及び結果
(1) 議長による開会宣言
 (社)日本新体操連盟・定款第24条第2項の定めにより議長を会長二木英徳がつとめ、開会宣言を行った。
(2) 議事録署名人の選出
 定款第32条により、議長は議事録署名人を荒井隆専務理事と岡久留実理事にする事を議場に諮り承認された。
(3) 定足数の確認
 定款第25条の定めにより、総会出席者数委任状含めて21名であることが池田理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) 決議事項

第1号議案 平成18年第2回総会について（定款第5章関連事項）

議長は説明者として池田理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

まず、平成19年度の事業計画を審議する第2回総会が

3月24日（土） 「霞会館」東京都港区西麻布3-2-32

11時 総会

12時 昼食会

13時30分 特別セミナー

の予定にて開催されることが説明された。

年間事業計画について（定款第5条関連事項）

年間スケジュールとして

4月25日 第1回理事会

5月11日 第1回総会

7月27日 第2回理事会

8月12日 クラブ選手権

9月9日 団体選手権

10月5日 イオンカップ世界新体操クラブ選手権

10月6日 日本新体操祭

12月18日 第3回理事会

2月22日 チャイルド選手権・キッズコンテスト

3月7日 第4回理事会

3月25日 第2回総会

その他年間を通じてセミナー・研修会が行われる予定であることが説明された。

第16回全日本新体操クラブ選手権について（定款第5条関連事項）

平成19年度のクラブ選手権が

8月12～14日 「千葉ポートアリーナ」千葉県千葉市中央区問屋町1-20にて開催、エントリー方法に出場選手学校行事の注意喚起文章を入れた以外昨年度とルール、競技方法等変更がなく開催する予定であることが説明された。

質疑・報告

1. 谷口理事より、ここ数年ジュニア選手の種目が「リボン」と続いているため変更することが提案され、選手得意種目や種目による演技熟練度などを検討した結果、平成20年度より、割当種目選定方法を変えること、平成19年度要項に選定方法変更予定の案内を入れることとなった。

第7回全日本新体操クラブ団体選手権について（定款第5条関連事項）

平成19年度の団体選手権が

9月9日 「千葉ポートアリーナ」千葉県千葉市中央区問屋町1-20にて開催、エントリー方法に出場選手学校行事の注意喚起文章を入れたこと。平成18年度第2回理事会にて検討事項として上がったシニア選手・ジュニア選手混成チームの取り扱いについてシニアの部に組み込むことが提案された。検討した結果

シニアの部 には シニア選手のみで構成されたチーム、あるいは、シニア選手とジュニア選手が混成して構成されたチームより、1クラブ1チームのエントリーとなった。

その結果、前年度1クラブ最大3チーム出場することが可能であったエントリー枠が1クラブ最大2チームの出場枠となった。また、「全日本新体操選手

権」出場権も、シニアの部上位2位入賞チームから、シニア構成チーム上位2チーム（選手全員が15才以上のチーム）となった。

質疑・報告

1. 山崎理事より、シニア種目を2手具にすることが提案され、次年度より検討することとなった。

第8回日本新体操祭について（定款第5条関連事項）

平成19年度の新体操祭が

10月6日 「東京体育館」東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1

にて開催される予定であること、18年度休止していたため、17年度開催様式と同様に開催することが説明された。

17年度大会では53チームのエントリーがあり、限定数以上のエントリーに対応したため、練習時間がほとんどなかったことが報告された。

19年度においても同様またはそれ以上のエントリーが予想されるため、エントリーを受け入れることができない旨を要項に記載しておきながらも、最大限受け入れる方向で進めていくことが確認された。また、今後多くの希望者を受け入れられるよう開催方法を検討していくこととなった。

イオンカップ2007世界新体操クラブ選手権について（定款第5条関連事項）

平成19年度のイオンカップが

10月5～7日 「東京体育館」東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1

にて開催されること、前回大会が国際体操連盟主催ワールドカップファイナル三重大会と同時開催だったため、17年度開催様式にて開催されることが説明された。

質疑・報告

1. 石崎常務理事より、参加者から、1stラウンドで1人4種目できる方法で開催して欲しいとの要望があることが報告され、トーナメントをベスト4からにすることが提案された。
参加人数、競技時間等研究し、開催可能な方式があれば、19年度より採用することとなった。

第10回全日本新体操チャイルド選手権

- ・第7回全日本新体操キッズコンテストについて（定款第5条関連事項）

平成19年度のチャイルド選手権・キッズコンテストが

2月22～24日 「東京体育館」東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1

にて開催されること、

スケジュール、競技方法等前回大会と同様に開催する予定であること

参加者数によって、次年度以降大会を東西予選大会を実施する方向の確認が説明された。

質疑・報告

1. 渡辺常務理事より、3・4年生の部最下位選手の得点が0.30であることが選手のやる気の喪失、落胆につながり、将来的には新体操の発展にふさわしいものでないため、最高得点を上げる配点方法の変更が提案された。
山崎理事より、参加点項目の追加も合わせて提案された。
ルール担当の橋本理事より、上記2点の配点方法の追加、ならびにルールを変更することが提案され、19年度大会については新ルールを採用することとなった。

平成 19 年度各種セミナーについて（定款第 5 条関連事項）

平成 19 年度の各種セミナーが前年度同様年間通じて開催され、内容は前年度同様となることが説明された。

平成 19 年度収支予算について（定款第 38 条関連事項）

文部科学省の指示による 3 カ年計画及び、イオンカップ 2006 とワールドカップファイナル三重大会の同時開催により、収支予算が変則的となってきたが、19 年度より実質予算案となることが説明された。

3 月 31 日まで 18 年度となるため、17 年度実績を考慮し、予算案を作成した。

予算収入として

会費・入会金収入	10,800,000
事業収入	264,300,000
その他	604,000
収入合計	275,704,000

予算支出として

事業費	240,450,000
管理費	34,000,000
予備費	1,000,000
大会運営引当金	254,000
支出合計	275,704,000

が説明された。

以上の説明が終わり、決議された。

第 2 号議案 その他について

①その他は審議されなかった。

（6）閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成 19 年 3 月 9 日

社団法人 日本新体操連盟 平成 18 年度第 4 回理事会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 荒 井 隆

同 岡 久 留 実